

環境活動レポート

2023年度

2023年4月1日～2024年3月31日



珠洲市天然記念物 本住持シダレサクラ
能登半島地震で庫裏 本堂 山門 倒壊
珠洲市正院

2024年8月15日

石川県羽咋市川原町チ250番地

株式会社足田グリーン

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社疋田グリーン 代表取締役 疋田國博

(2) 所在地

石川県羽咋市川原町チ 250 番地

石川県羽咋市千里浜町カ 73 番地 1

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 担当者 疋田國博

連絡先 TEL 0767-22-0372

FAX 0767-22-953

E-mail info@hikidagreen.co.jp

URL http://www.hikida-en.com

(4) 事業内容

造園工事・造園管理

山林種苗生産

(5) 事業規模

従業員 4 人

事務所延べ床面積（住宅隣接） 58 m²

圃場 90000 m²

売上高 4900 万円

2. 対象範囲

(1) 認証・登録範囲

造園工事・造園管理

山林種苗生産

樹木診断・樹木保護

(2) レポート対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

3. 環境経営方針

2021年6月10日に疋田農昌園から法人化し、株式会社疋田グリーンと改称しましたが、企業理念・環境経営方針は継続して掲げます。

企業理念

1. 造園・緑化事業を通じて、より良い環境の創造、地域社会の発展に貢献します。
2. 技能・技術を大切にし、顧客の要望と社会的使命に応えます。
3. 社会の信用と顧客の信頼に基づいて事業の発展を図ります。

環境経営方針

当事業所は、日々、造園・緑化に携わる者としてよりよい環境の構築をめざして事業に取り組んでいます。同時に、見落としがちな環境負荷・廃棄物の削減や省資源の取り組みと環境にやさしい資材の購入や施工からサービスにおける事業全体にわたって自然・環境への取組を展開します。取組むに当たり下記の方針を定めます。また、あらためて造園・緑化の価値を従業員一丸となって再構築するものです。

基本方針

1. 環境への取組を推進するために、エコアクション21に積極的に参加し、建設業者向けガイドライン2017年版でその運用に努めます。
2. SDGs（持続的な開発目標）の趣旨に賛同しエコアクション21の活動と関連付けて活動します。
3. 環境関連法規・規則等を遵守します。
4. 事業者として、以下を重点として環境負荷の削減・環境への取組を実施します。
 - ・事業における二酸化炭素排出量の削減
 - ・事業に伴う廃棄物排出量の削減、建設リサイクルの推進
 - ・事業における水使用量の削減
 - ・事業における化学物質使用量の削減（農薬の適正使用）
 - ・事業において環境にやさしい資材（グリーン購入）の調達
5. 造園緑化工事業者として緑化の拡大等の提案や樹木保護に積極的に取り組みます。お施主様に対してより環境に配慮した資材・計画・工法等の提案をします。
6. 自然保護活動など地域貢献活動に積極的に参加します。
7. 従業員に対して環境に必要な環境教育を実施します。

2022年4月22日

株式会社疋田グリーン

代表取締役 疋田 國博

4. 環境関連法規の取りまとめ

適用される環境関連法規

●印 遵守義務項目 ・印 努力義務項目

主な摘要法規	内 容	該当事項	責任者
廃棄物処理法 (1)	- 産業廃棄物の分別保管・収集運搬 - 不法投棄の防止 - リサイクルの促進	● 分別、保管 ● マニフェストの管理 ● 廃棄物不法投棄、焼却の厳禁 ● 運搬時の表示、書類の携帯 ・ リサイクルの促進	疋田 國博
毒物及び劇物取締法	- 毒劇物の販売、授与、製造、貯蔵、運搬、陳列の取締り - 毒劇物容器等の表示の取締り	● 農薬の適正な保管管理	疋田 國博
化管法 PRTR 制度 SDS 制度 (2)	- 有害性のある化学物質（農薬）の環境への排出量（使用量）の把握 - 化学物質（農薬）の成分、性質、取扱方法の把握	・ 農薬使用量の把握、特に PRTR 対象のもの ・ SDS の把握	疋田 國博
住宅地等における農薬使用について（通知）	- 農薬の飛散防止 - 農薬の現地混用の注意	・ 病虫害の状況に応じた適切な防除 ・ 天候・道具等で農薬の飛散防止 ・ 事前に周辺住民に周知 ・ 混用に関する注意事項の厳守	疋田 國博

【環境関連法規正式名称】

(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(2) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

当社は、PRTR 制度の届出対象業者には該当しない。

5. 環境経営目標（2021 年～2023 年）

（1）SDGs との関連

当社はSDGs(持続的な開発目標)の趣旨に賛同しエコアクション 21 の活動と次の通り関連付けて活動してまいります。

SDGs の目標 環境経営目標項目	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなも使ってクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを増そう	15 陸の豊かさも守ろう
	安全な水と持続化可能な管理	エネルギーを皆に・クリーンに	住み続けられる街づくり	つくる責任、使う責任	気候変動及びその影響の軽減	海洋・海洋資源を保全し持続可能な形で利用する	陸生生態系及びの保全及び生物多様性
地域の住まい環境及び自然環境の保全に資する工事の積極的受注			●				●
松くい虫抵抗性松苗の生産							●
地域の樹木の保護 (樹木医としての活動)			●				●
二酸化炭素排出量の削減 (電気・軽油・ガソリン・灯油)		●			●		
水使用量の削減	●						
剪定屑のリサイクルの推進				●			
一般廃棄物の排出量の削減				●			
化学物質の使用量の削減 (農薬の適正使用)			●				
環境に優しい資材の調達 (グリーン購入)			●				
地域の海岸線の漂流物の回収 (クリーンビーチ石川等への参加)			●			●	

(2) 環境負荷項目の目標

会計年度と同様に期間を 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとします。目標は以前と同様 2020 年までの実績をふまえ、目標・リサイクル率を 2023 年までの 3 カ年計画とします。

- 1) 二酸化炭素排出量の負荷項目の基準値は増減幅の小さい電力・灯油・ガソリン使用量は過去 3 年実績の平均とし、増減幅の大きい軽油・LPG 使用量は 20 年実績とします。3 カ年目標は毎年 0.1% 減とします。(電力排出係数を 0.465kg-CO₂/kwh と設定。)
- 2) 水使用量・廃棄物搬出量(一般廃棄物)・資源等使用量(コピー用紙)の基準値は過去 3 年実績の平均とし、3 カ年目標は毎年 0.1% 減とします。
- 3) 剪定枝リサイクル率は引き続き 100% を目標とします。
- 4) 化学物質使用量は農薬の使用量を把握し、適正使用の状況を確認することとします。
- 5) 抵抗性松苗の生産本数については現在、県内で生産調整されており、当方の出荷割り当てである 4000 本と基準とし、維持するものであります。
- 6) 樹木保護の提案件数は 20 年度 15 件であり、これを基準とし目標としては年 5% 増とします。

目 標 項 目		基準値	2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素排出量	総量 (Kg-CO ₂)	20,992	20,971	20,950	20,929
電力使用量	総量 (kWh)	7,624	7,616	7,609	7,601
灯油使用量	総量 (ℓ)	1,025	1,024	1,023	1,022
LPG 使用量	送料 (kg)	31.9	31.9	31.8	31.8
ガソリン使用量	総量 (ℓ)	2,469	2,467	2,464	2,462
軽油使用量	総量 (ℓ)	3,516	3,512	3,509	3,505
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
水使用量	総量 (m ³)	311	311	310	310
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	総量 (kg)	673	672	672	671
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
資源等使用量 (コピー用紙)	総量 (枚数)	7,808	7,800	7,792	7,785
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
剪定枝リサイクル率	%	100	100	100	100
化学物質使用量	kg	農薬使用量を把握し、適正使用の状況を定期的に確認します			
抵抗性松苗の出荷本数	本	4000	4000	4000	4000
増加率 (累計)					
樹木保護についての提案件数	件	15	15	16	17
増加率 (累計)	件		5%	10%	15%

6. 環境経営計画

新規目標の設定にあたり活動計画について以下のようにします。環境活動レポート 2017 年版に発表しましたが、改めて検討し直し、以下の取組みとします。

(1) 二酸化炭素排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	取 組
の削減 ガソリン・軽油使用量	車両の効率的運用・配車に努める	管理責任者	・作業前に合理的な配車をする ・使用道路を検討する
	草刈り機等は効率よく使用する	各使用者	・歯の選択と刈り方に注意する
	チェーンソー等は整備を良くして使用する	各使用者	・事前にチェーンソーの刃は研いで使用
抑制 電力使用量の	未使用時に圃場のスイッチに注意する	各使用者	・確実に OFF を確認する
	事務所の空調は（冷房 28℃ 暖房 20℃）とする	管理責任者	・設定温度を表記する ・温度計を設置する
量の削減 灯油使用	暖房機の設定温度 20℃とする	管理責任者	・使用時に設定温度を確認する

(2) 水使用量の削減について

活動計画の内容		取組担当	取 組
事務所	道具・車両の洗浄は泥等を良く落としてから洗浄する	作業者	・お互い注意する
	トイレの水量 大小を使い分ける	使用者	・使用時 注意をはらう
苗畑	無駄な散水はしない	山林種苗担当	・天候や土壌の乾燥具合をよく考えて散水する。スプリンクラーの使い方注意

(3) 廃棄物排出量の削減とリサイクルについて

活動計画の内容		取組担当	取 組
一般廃棄物の削減	分別を確実に行う	各自	分別置き場を明確にする
剪定枝の	確実に処理場等に搬出する。	造園担当	・マニフェスト提出を徹底する
リサイクル	積置場を整理整頓する	造園担当	・片付けを励行する

(4) 省資源化の徹底について

活動計画の内容		取組担当	取 組
紙 の 削 減 紙 使 用 量 (コ ピ ー 用 紙)	データーはデジタル化し極力、印刷しない	各使用者	・ HDD の増設等おこなう
	2 ページ以上は両面印刷とする	各使用者	・ 印刷設定を確実にを行う
	社内文章は裏刷りとする	各使用者	・ 再利用紙を捨てない ・ 印刷設定時に注意する
グリーン購入等	グリーン購入対象商品を積極的に購入する	総務担当	・ 事前、購入時に確認する ・ 記録する

(5) 環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）について

活動計画の内容		取組担当	取 組
農 薬 の 適 正 使 用	作業時、法令等を遵守する	管理責任者	・ 法令等の教育を適宜する
	病害虫を早期に把握し、適切な防除	管理責任者	・ 早々に対応する
	PRTR 対象の使用量を把握する	管理責任者	・ 使用時記録する

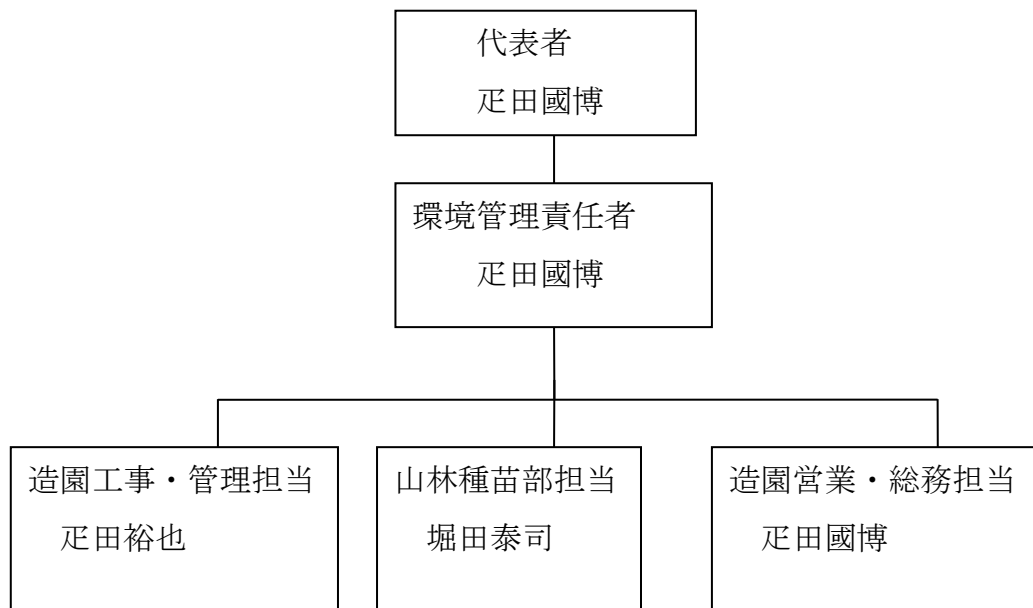
(6) 緑化の拡大などの提案について

活動計画の内容		取組担当	取 組
的 緑 化 の 量 の 拡 大	抵抗性マツの生産を軌道にのせる	山林種苗担当	
的 緑 化 の 質 の 拡 大	樹木保護に取り組む	造園担当	・ 樹木医活動を積極的に行う
	マツ材線虫病の防除に積極的に取り組む	管理責任者	・ 顧客に提案する

7. 実施体制

環境目標及び環境活動計画を達成するために以下のように実施体制を整えます。実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、全員に周知します。

(1) 組織図

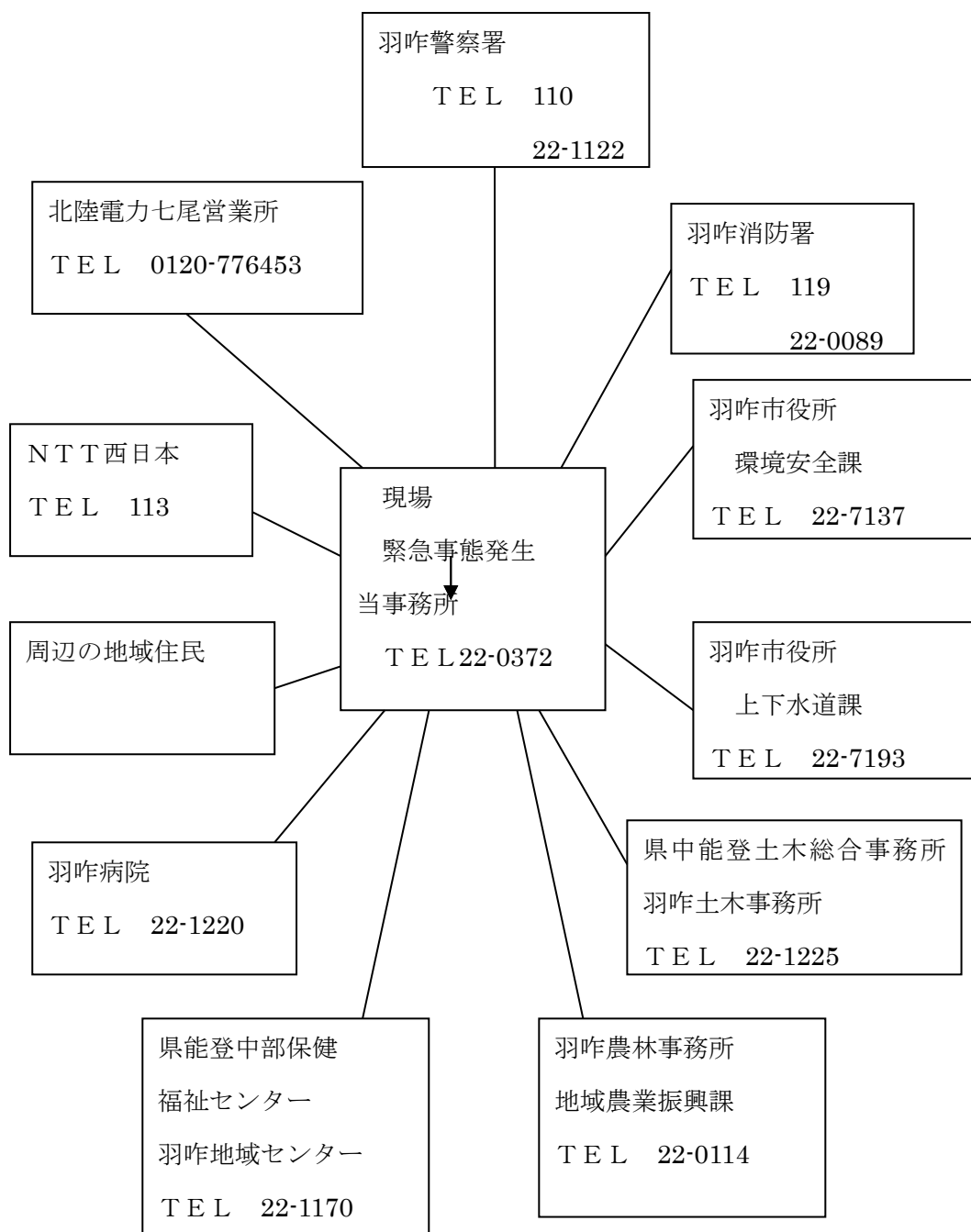


(2) 役割と責任

代表者	・環境方針の策定 ・エコアクション21の全体の見直し ・環境への取組を実行するための資源の用意 ・環境管理責任者の任命（兼任可）
環境管理責任者	・環境活動計画の構築・実施・管理 ・環境活動計画の取組結果の報告
担当責任者	・環境活動計画の推進 ・環境目標の達成状況の確認

8. 環境上の緊急事態の対応に関する試行及びその対応策

(1) 緊急連絡体制



上記は羽咋市内を想定した場合で他地域ではそれに順ずることとする

(2) 想定される緊急事態

今年度は昨年度同様に以下を想定し、訓練等を実施した。

想定される緊急事態	消毒作業中 希釈した農薬がドリフトし 対象以外にも散布された
発生原因	風向きの把握と対応が不十分であった ノズルの調整が不十分で散布量の調整ができなかった
環境への影響	空気の汚染 周りの家や畑の野菜に農薬が付着する
対応策	① 風向きを把握し、風向き対応するノズルの使い方をする。強風の場合は見合わせる。 ② 周りの家には声をかけ、戸締りをしてもらう ③ 野菜等々については必要があればブルーシート等で養生する ④ 薬剤名 希釈倍率を常に把握する
連絡先	現場 → 付近の家 ↓ 会社責任者 0767-22-0372 携帯電話
訓練結果	別紙参照

(3) 訓練実施状況

月日	令和 5 年 5 月 26 日 8 : 00 ~ 9 : 00
場所	事務所前 空地
参加者	従業員
訓練内容	①想定される緊急事態について
実施状況	作業前に動力噴霧器 ノズルを使いながら説明
訓練結果	風向きの把握の仕方 事故時の冷静な対応

9. 環境関連法規などの遵守状況の結果

(1) 適用される環境関連法規

[○取り組んでいる △さらに取組が必要 ×取り組んでいない]

●印は遵守義務項目 ・印は努力義務項目

主な摘要法規	該当事項	対応	2023 年度確認	
			10/10	翌 4/8
			確認者 疋田	確認者 疋田
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	● 分別、保管	分別・保管場所を明確にする	○	○
		積込・搬出時に注意する	○	○
	● マニフェストの管理	綴り管理する	○	○
	● 廃棄物不法投棄、焼却の厳禁	注意し、徹底する	○	○
	● 運搬時の表示と書類の携帯	運搬車に常備する	○	○
	・ リサイクルの促進	搬出先に留意する	○	○
毒物及び劇物 取締り法	● 農薬の適正な保管管理	保管庫・倉庫の鍵の管理 を厳守する	○	○
		購入・使用・在庫薬剤の記録 をつける	○	○
化管法	・ 農薬使用量の把握 特に PRTR 法対象のもの	使用の記録をつける	○	○
	・ SDS の把握 (取扱い事業者の提供義務)	SDS の取得	○	○
		使用前に薬剤のラベル等をよく読む	○	○
住宅地等における農薬使用 について（通知）	・ 農薬の飛散防止	状況に応じた適切な防除	○	○
		天候・道具等で飛散防止	○	○
		事前に周辺住民に周知	○	○
	・ 農薬の現地混用の注意	混用に関する注意事項の厳守	○	○

(2) 違反、訴訟、苦情等

環境関連法規に対する違反はありませんでした。また、関係機関から特に指摘はありませんでしたし、訴訟、苦情等も 1 件もありません。

10. 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、及びその評価結果

(1) 環境経営目標について

1) 実績 2023 年度

目 標 項 目		2022 年度	2023 年度				
			上半期	下半期	計	前年比	目標比
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2)	20,530	10,876	9,967	20,843	+1.5%	-0.4
電力使用量	総量 (kWh)	7,855	3,757	3,897	7,654	-2.6%	+0.7%
灯油使用量	総量 (ℓ)	581.4	61.0	541.9	602.9	+3.7%	-41.0%
LPG 使用量	総量 (kg)	30.4	13.2	14.75	27.95	-8.7%	-12.1%
ガソリン使用量	総量 (ℓ)	2,395	1,523	927	2,450	+2.3%	-0.5%
軽油使用量	総量 (ℓ)	3,782	2,045	1,735	3,780	±0.0%	+7.8%
総排水量 (上水道使用量)	総量 (m³)	192	84	83	167	-13.0%	-46.1%
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	総量 (kg)	465	209	257	466	±0.0%	-30.6%
資源等使用量 (コピー用紙)	総量 (枚数)	4,500	2,500	2,500	5,000	+11.1%	-35.8%
剪定枝リサイクル率	%	100	100	100	100	±0.0%	±0.0%
化学物質使用量	kg	28.54	0.45	19.4	19.85	-30.4%	
抵抗性松苗の出荷本数	本	3,647	0	5,238	5,238	+43.6%	+30.9%
樹木保護についての提案件数	件	11	7	6	13	+18.2%	-23.5%

※ 購入電力排出係数 北陸電力 0.499kg-CO2/kwh とする

※ 化学物質使用量 昨年 29.45 kg としたが計算ミスで 28.54 kg とする

4) 評価

- ① 今年度は全体的に前年と比べ LPG 使用量以外は大きな変化はなく、二酸化炭素排出量は若干の増でした。
- ② 目標比では特に灯油が大きく減少し LPG 使用量も減少しました。これは昨年、家族構成が 1 人減少したのが大きな要因だと考えられます。軽油使用量は 2 t ダンプの使用など増加したのが原因だと考えます。
- ② 上水道使用量については目標比 46.1%減で、家族の一人減が大きく影響していると考えられます。
- ③ 一般廃棄物については目標比 30.6%減で、これも家族一人減が考えられます。剪定枝のリサイクル率は引き続き 100%です。
- ④ コピー用紙の使用量については目標比 35.8%減です。
- ⑤ 化学物質使用量は PRTR 制度物質を対象としましたので、1 昨年度と違います。昨年比 30.4%減です。これは山林種苗における耕作時の消毒 D-D の使用量の関係です。
- ⑥ 抵抗性松苗の出荷本数は山林種苗協同組合事務局の出荷指示でなされるため、自己努力のみでは如何ともしがたいです。

(2)環境経営計画について

[○取り組んでいる △さらに取組が必要 ×取り組んでいない]

山林種苗部も対象に加えたので一部変更しました。

1) 二酸化炭素排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	2023 年度		備 考
			上半期	下半期	
使用量の削減 ガソリン・軽油	車両の効率的運用・配車に努める	管理責任者	○	○	
	草刈機等は効率よく使用する	各使用者	○	○	各自専用機械を決める
	チェーンソー等は整備を良くして使用する	各使用者	○	△	刃の研磨をこまめに
量の抑制 電力使用	未使用時に圃場のスイッチに注意する	各使用者	○	○	
	事務所の空調は（冷房 28℃ 暖房は 20℃）	管理責任者	△	○	夏 クーラーを多用した
量の抑制 灯油使用	暖房機の設定温度は 20℃以下とする	管理責任者	○	△	寒すぎると温度を上げる

2) 水使用量の削減について

活動計画の内容		取組担当	2023 年度		備 考
			上半期	下半期	
事務所	道具・車両の洗浄は泥等を良く落としてから洗浄する	作業者	○	○	
	トイレの水量 大小を使い分ける	使用者	○	○	
畑 苗	無駄な散水はしない	山林種苗担当	○	○	夏、猛暑で使用増加

3) 廃棄物排出量の削減とリサイクルについて

活動計画の内容		取組担当	2023 年度		備 考
			上半期	下半期	
一般廃棄物の削減	分別を確実に行う	総務担当	△	○	現場作業時のポイ捨てのプラ等の扱い
一般廃棄物の削減	確実に処理場へ搬出する。	造園担当	○	○	
	積置場を整理整頓する	造園担当	○	△	忙しいと後回し

4) 省資源化の徹底について

活動計画の内容		取組担当	2023 年度		備 考
			上半期	下半期	
紙 使用 量 (コ ピー 用 紙) の 削 減	データーはデジタル化し極力、印刷しない	各使用者	○	○	
	2 ページ以上は極力両面印刷とする	各使用者	○	△	公共工事等の提出書類の 対応が必要
	社内文章は裏刷りとする	各使用者	○	○	印刷設定を確実に
グリーン購入等	グリーン購入対象商品を積極的に購入する。	総務担当	○	△	購入時に確認する

5) 環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）について

活動計画の内容		取組担当	2023 年度		備 考
			上半期	下半期	
農 薬 の 適 正 使 用	作業時、法令等を遵守する	管理責任者	○	○	法令等の教育
	病害虫を早期に把握し、適切な防除	管理責任者	△	○	忙しいと後手に回る
	農薬の使用量を把握する	管理責任者	△	△	記録が不十分

6) 緑化の拡大などの提案について

活動計画の内容		取組担当	2023 年度		備 考
			上半期	下半期	
緑 化 の 量 的 拡 大	抵抗性マツの生産を軌道にのせる	山林種苗担当	△	○	播種床での土ばかまの処 理
緑 化 の 質 的 拡 大	樹木保護に取り組む	造園担当	○	○	
	マツ材線虫病の防除に積極的に取り組む	管理責任者	○	○	樹幹注入・薬剤防除を勧める

1 1.次年度以降の目標と取組み

(1) SDGs との関連

引き続きSDGs(持続的な開発目標)の趣旨に賛同しエコアクション21の活動と次の通り関連付けて活動してまいります。

SDGsの目標 環境経営目標項目	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーを皆に	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、使う責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
	安全な水と持続化可能な管理	エネルギーを皆に・クリーンに	住み続けられる街づくり	つくる責任、使う責任	気候変動及びその影響の軽減	海洋・海洋資源を保全し持続可能な形で利用する	陸生生態系及びの保全及び生物多様性
地域の住まい環境及び自然環境の保全に資する工事の積極的受注			●				●
松くい虫抵抗性松苗の生産							●
地域の樹木の保護 (樹木医としての活動)			●				●
二酸化炭素排出量の削減 (電気・軽油・ガソリン・灯油)		●			●		
水使用量の削減	●						
剪定屑のリサイクルの推進				●			
一般廃棄物の排出量の削減				●			
化学物質の使用量の削減 (農薬の適正使用)			●				
環境に優しい資材の調達 (グリーン購入)			●				
地域の海岸線の漂流物の回収 (なぎさクリーン運動等への参加)			●			●	

(2) 環境負荷項目の目標 (2024 年～2026 年)

2023 年までの実績をふまえ、目標・リサイクル率を 2026 年までの 3 カ年計画とします。

- 1) 二酸化炭素排出量の負荷項目の基準値は増減幅の小さい電力・ガソリン使用量は過去 3 年実績の平均とし、家族 1 名減で大きく減少した灯油・LPG 使用量は 22 年 23 年の 2 年実績の平均とします。増減幅の大きい軽油使用量は過去 3 年実績の平均とします。3 カ年目標は毎年 0.1%減とします。
- 2) 水使用量・廃棄物搬出量（一般廃棄物）は過去 2 年の実績の平均、資源等使用量（コピー用紙）の基準値は過去 3 年実績の平均とし、3 カ年目標は毎年 0.1%減とします。
- 3) 剪定枝リサイクル率は引き続き 100%を目標とします。
- 4) 化学物質使用量は PRTR 対象物質の使用量を 2 年間把握しましたが、適正使用の状況を確認することができなかったために調査を継続します。
- 5) 抵抗性松苗の生産本数については現在、山林種苗協同組合で生産調整されており、当方の出荷割り当てである 4000 本と基準とし、良質の苗木を生産します。
- 6) 樹木保護の提案件数は 23 年度 13 件であり、これを基準とし目標としては年 5%増とします。

目 標 項 目		基準値	2024 年	2025 年	2026 年
二酸化炭素排出量	総量 (Kg-CO2)	20,658	20,636	20,615	20,593
電力使用量	総量 (kWh)	7,844	7,836	7,828	7,820
灯油使用量	総量 (ℓ)	592	591	590	589
LPG 使用量	送料 (kg)	29.2	29.2	29.1	29.18
ガソリン使用量	総量 (ℓ)	2,474	2,472	2,469	2,467
軽油使用量	総量 (ℓ)	3,660	3,656	3,653	3,649
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
水使用量	総量 (m ³)	179	179	179	178
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
廃棄物排出量 (一般廃棄物)	総量 (kg)	466	466	465	465
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
資源等使用量 (コピー用紙)	総量 (枚数)	5,847	5,841	5,835	5,829
削減率 (累計)			0.1%	0.2%	0.3%
剪定枝リサイクル率	%	100	100	100	100
化学物質使用量	kg	PRTR 対象物質の使用量を把握し、適正使用の状況を定期的に確認します			
抵抗性松苗の出荷本数	本	4000	4000	4000	4000
増加率 (累計)					
樹木保護についての提案件数	件	13	13	14	15
増加率 (累計)	件		5%	10%	15%

(3) 環境経営計画

新規目標の設定にあたり活動計画について以下のように取り組みます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減について

活動計画の内容		取組担当	取 組
抑制 電力使用量の	退出時には部屋等のあかりを消灯する	各使用者	・ 確実に消灯を確認する
	事務所の空調は（冷房 28℃ 暖房 20℃）とする	各使用者	・ 設定温度を表記する ・ 温度計を設置する
の削減 灯油使用量の	暖房機の設定温度 20℃とする	各使用者	・ 使用時に設定温度を確認する
の削減 ガソリン・軽油使用量の	車両の効率的運用・配車に努める	管理責任者	・ 作業前に合理的な配車を検討する ・ 使用道路を検討する
	草刈り機・チェーンソー等を効率よく使用する	各使用者	・ 歯の選択と刈り方に注意する ・ チェンソーの刃研いで使用する

(2) 水使用量の削減について

活動計画の内容		取組担当	取 組
事務所・倉庫	道具・車両の洗浄は泥等を良く落としてから洗浄する	作業員	・ お互い注意する
	手洗いを慣行するが、無駄に使わない	使用者	・ 使用時 注意をはらう
苗畑	無駄な散水はしない	山林種苗担当	・ 天候や土壌の乾燥具合をよく考えて散水する。スプリンクラーの使い方注意

(3) 廃棄物排出量の削減とリサイクルについて

活動計画の内容		取組担当	取 組
一般廃棄物の削減	分別を確実に行う	各自	分別置き場を設置する
剪定枝の	確実に処理場等に搬出する。	造園担当	・ マニフェスト提出を徹底する
リサイクル	積置場を整理整頓する	造園担当	・ 片付けを励行する

(4) 省資源化の徹底について

活動計画の内容		取組担当	取 組
の削減 紙使用量 (コピー用紙)	データーはデジタル化し極力、印刷しない	各使用者	・ HDD の増設等おこなう
	2 ページ以上は極力両面印刷とする	各使用者	・ 印刷設定を確実にを行う
	社内文章等は再利用紙の裏刷りとする	各使用者	・ 再利用紙を捨てない ・ 印刷設定時に注意する
グリーン購入等	グリーン購入対象商品を積極的に購入する	総務担当	・ 購入時に確認する ・ 記録する

(5) 環境浄化の推進（農薬の適正適量の使用）について

活動計画の内容		取組担当	取 組
農薬の適正使用	作業時、法令等を遵守する	管理責任者	・ 法令等の教育を適宜する
	病害虫を早期に把握し、適切な防除	管理責任者	・ 早々に対応する
	PRTR 対象の使用量を把握する	管理責任者	・ 使用時記録する

(6) 緑化の拡大などの提案について

活動計画の内容		取組担当	取 組
的拡大 緑化の量	抵抗性マツの生産を担う	山林種苗担当	
的拡大 緑化の質	樹木保護に取り組む	造園担当	・ 樹木医活動を積極的に行う
	マツ材線虫病の防除に積極的に取り組む	管理責任者	・ 顧客に提案する

(7) 緑化保護などのボランティア活動に積極的に参加する

活動計画の内容		取組担当	取 組
など参加 緑化保護	みどりの基金など積極的に募金する	管理責任者	
	緑化保護などのボランティア活動に参加する	管理責任者	
物の回収 海岸線の漂流	なぎさクリーン運動など積極的に参加する	各従業員	

1 2. 全体の評価と見直しの結果

(1) 評価

プログラムの構築・運用について

評価項目	できた	一部できた	できなかった
①PDCA に沿ってエコアクションをすすめることができた		○	
②環境方針に沿ってエコアクションを進めることができた		○	
③経営における課題とチャンスで明確にした内容をふまえてとりくむことができた。		○	
④環境に与える良い影響や環境負荷を把握することができた	○		

エコアクション実施による効果について

評価項目	効果があった	一部効果があった	効果がなかった
⑤経費の削減につながった		○	
⑥新たなビジネスの可能性を発見した			○
⑦従業員の環境意識が変わった	○		
⑧外部に対して PR することができた			○
⑨顧客や地域の信頼につながった			○

(2) 見直し

①環境方針	②環境関連法規
SDGs との関係を若干行った	プラスチック資源循環促進法を検討したが 廃棄物処理法での分別処理の項とする
③環境目標	④実施体制
2024 年から 3 年間の目標を新たに設定した	変更なし
⑤環境教育	⑥環境コミュニケーション
変更なし	変更なし
⑦環境経営計画	⑧環境上の緊急事態への準備と対応
変更なし	次年度新たな課題を検討する
⑨環境活動レポート	⑩その他環境への取組
2023 年度版	変更なし

最終確認日 2024 年 8 月 15 日 代表者 疋田 國博